

2025年3月31日作成

第1.0版

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力をお願い

奈良県立医科大学では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

急性陰嚢症患者に対する TWIST スコアの有用性

1. 対象となる患者さん

2000年1月1日から2025年3月31日に奈良県立医科大学に急性陰嚢症のために受診した患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学 泌尿器科 森澤 洋介

3. 研究の目的と意義

急性陰嚢症は精巣捻転症、精巣上体炎、付属小体捻転症（精巣垂捻転、精巣上体垂捻転）、精巣炎、精索静脈瘤などが鑑別となる救急疾患です。中でも精巣捻転症を確実に診断することは重要ですが、時間外受診が多いこの疾患で正確な診断を下すことは容易ではありません。TWIST スコアという症状と簡単な診察から得られる情報で精巣捻転症の可能性を予測することが可能です。当院を受診した患者さんを対象に TWIST スコアの有用性検討します。

4. 研究の方法

5. に示す情報を対象の患者さんのカルテから収集します。

5. 使用する情報

①臨床所見（年齢、身長、体重、既往歴）

TWIST スコアのパラメーター（精巣の腫脹の有無、精巣の硬さ、精巣拳筋反射の有無、嘔気・嘔吐の有無、精巣の位置）

②検査所見（検尿、ドップラーエコー）

③緊急手術実施の有無と手術所見

④転帰（精巣萎縮の有無）

6. 情報の管理責任者

奈良県立医科大学 泌尿器科 森澤 洋介

7. 研究の実施体制

この研究の実施体制は以下のとおりです。

研究責任者

奈良県立医科大学 泌尿器科 森澤 洋介

研究分担者

奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科 診療助教 橘 進彰

8. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2028年3月31日

9. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

10. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 泌尿器科 森澤 洋介

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：morizawa@naramed-u.ac.jp